

平成 29 年度第 1 回やまがた出会いサポートセンター運営委員会議事要旨

平成 29 年 5 月 16 日(火) 13 時 30 分～15 時 00 分

山形県庁 15 階 1502 会議室

議事内容

- ・総会付議事項について、原案どおり総会に提案することを了承
 - －役員の変更（副会長、監事）、平成 28 年度収支決算(案)・事業報告
- ・平成 29 年度事業計画・収支予算(3 月書面議決済み)を報告
- ・会員アンケートの結果概要、平成 29 年度事業計画の具体的な取組みを協議し、委員からの質疑・提案を踏まえ平成 29 年度の取組みを決定

主な発言要旨

- <委員>再登録者を増やすためにも、一度もマッチングのない会員への対応が課題だ。
- <委員>じわじわと男性の会員数が増えている、毎月の出張登録会の効果が出てきたのではないかと。8 月に街コン、10 月に生涯学習フェスティバルを実施予定なので、出展参加等協力願いたい。自分磨き講座等をぜひ山形市以外でも開催してほしい。
- <委員>ホームページにイベント情報を掲載しているが、イベント実施状況（実施の有無、参加者数男女別、マッチング数など）を教えてください。
- <事務局>H28 年度のイベント開催状況は、速報値で情報発信数 1,162 件、開催数 763 回、参加者数 12,165 人、カップル成立組数 873 組、成婚組数 3 組である。
- <委員>未実施のイベントが 4 割近くある点を踏まえた今後の情報発信の在り方について検討する必要があるのではないかと。
- <事務局>イベント実施状況の現状を精査し、どのように対応していくか検討する。
- <委員>企業間交流促進事業は、今後の見通しとしてどの程度継続していく予定か。また、登録料 10,000 円について収支決算に見当たらないがどのように経理しているのか。
- <事務局>企業間交流促進事業は、昨年度実施してみたところ手ごたえがあった。ゆくゆくは企業に自主的に取り組んでもらうことを想定した下地作りと考えている。今のところ参加企業の多くが山形市周辺のため、地方地域の企業の協力を仰ぎたい。
登録料は、委託先の山形街づくりサポートセンターで徴収し委託事業の経費に充当する契約としている。金額は先進他県を参考にした。特に若い年代の方には 10,000 円は高額となるため、昨年度からお友達割や企業団体割の割引制度を実施している。

<委員>最上地域での登録会員数が少ないので、センターの認知度をまだまだ上げていかなければならない。志向が同じ人同士だとカップル成立率が上がると思うので、バリエーション豊富なイベント等の実施が必要なのではないか。

<委員>イベント開催時に、その場で参加者にアドバイスをするような取組みは実施したことはないか。

<事務局>現在実施しているのは個別の相談対応である。イベント等でのアドバイスは行っていない。

<オブザーバー>置賜広域行政事務組合主催で、H29年3月に男性参加者は地元の方、女性参加者は東京都や三重県在住の方の15人ずつの婚活イベントを実施した。男性参加者に限り、フリーアナウンサー・伊藤こず恵さんから、イベント2週間前には身だしなみについて、当日のバスの中などワンポイントアドバイスをもらう事業を行った。

<委員>システムを普及するためには、勧める側の理解が不十分なので、市町村担当者向けにデモ機を使用しての説明会等を実施してもらいたい。

担当部署が違うので移住と婚活は一緒にできないのかもしれないが、市町村、県の境を超え移住対策とタイアップできないものか。

<事務局>6月頃に4地域での市町村の結婚支援者等向け説明会を実施予定である。日程等を調整させていただきたい。

東京の山形ハッピーライフ情報センターにパンフレット等を設置している。

<委員>平成27年7月に会員数1,000人突破プレスリリースを行っているので、2,000人突破時にも実施してはどうか。また、成婚組数100組を記念する企画を検討してはどうか。

センターの終業時間は、仕事終わりに行くとなると19:00までだと早すぎるので、20:00までとしてほしい。土日についても幅を持たせてもらえると利用しやすいと思う。

<事務局側>成婚組数100組を記念する企画は事業計画に組み入れたい。

山形センターの水曜及び金曜の閲覧、お引き合わせについては最終枠をまで19:00としている。電話対応などは20:00まで行っている。時間延長は今後検討したい。